



デイジー

通級指導教室便り
2024.6.24
裾野市立西中学校

お互いにとって プラス

家族や学校でできる一番重要なサポートは、とにかく本人の特性について（そして、発達障害そのものについて）よく理解して関わることです。

しっかり理解していないと、本人に対して「どうしてできないの」「どうしてやらないの」と責める気持ちが強くなってしまいます。例えば、家庭で、本人が苦手な整理整頓をするときには、「片付けたの？」ではなく、「今から10分間一緒に片付けよう。」と時間を決めて作業する方が効果があります。忘れ物を減らしたいなら、「忘れ物はない？」と毎回確認するよりも、カレンダーなどを使って本人が自分で持ち物や予定チェックができる状況にし、できていたら褒める方が、自主性と自己肯定感を高めることとなります。「中学生なんだから」「このくらい当たり前」等と、サポートする側の考えを押し付けないことも大切です。「努力が足りない」「甘えだ」という叱責や、「頑張ればできる」という励ましは、発達障害のある人にとっては負担になってしまいます。努力が及ばないところなので、いくら励ましたり責めたりしても変わりません。それよりも、どのように良い部分を引き出し、苦手な部分をカバーするのかを、共に考えるような声掛けが大切です。「どうして」を「どうしたら」に変えることが、次の行動につながり、本人の気持ちが前向きに変わるきっかけになります。

以上のような関わりは手間と言えますが、長い目で見ると、サポートする側にとってもプラスになります。人は一人ひとり異なることや、それぞれに得意、不得意があることを学び、多様性についての理解や寛容性を育む良い機会になります。「してあげている」「仕方がない」といった態度でいると、本人には伝わりますから、「お互いにとってプラスになっている」と意識することがとても大切なのです。ただ、誰でも100%サポートするのは無理ですし、逆にサポートしすぎてしまうのも、本人が自分で変わっていく力を奪ってしまうことになります。できることはやり、無理なことは断り、助けてほしいことは頼み、断られても責めない気持ちが、お互いに必要です。

(参考書籍：「誤解だらけの発達障害」岩波明 宝島社新書)

7・8月の予定 (配付時に通級の日時を書き込みます。その後、変更になる場合には、本人に直接連絡します。)

月	火	水	木	金
7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日
7月8日	7月9日	7月10日 通級保護者面談	7月11日 通級保護者面談	7月12日
7月15日 海の日	7月16日 通級保護者面談	7月17日 通級保護者面談	7月18日	7月19日 1学期終業式
夏休み (7/20~8/26 38日間)				
8月26日 夏休み最終日	8月27日 2学期始業式	8月28日	8月29日	8月30日

～いつでもどこでもできる 言葉を増やす方法～

「話してくれるけど、何を言いたいのか分からない！」
「思いを伝えようとはしているが、具体的でなくて分かりにくい」



これらを解決するには「説明する力」「文の構成力」「ことばの数」が大きく関係すると言われ、今回は、その中で、「ことばの数を増やす＝語彙力アップ」の方法を紹介します！

となると、「読み聞かせをしないといけない」「読書をさせないといけない」と思う人が多いと思いますが、もっと手軽で簡単で、効果的な方法が身近にあります。それは……

① お子さんが今、関心のあることを活用する！

例えば「鬼滅の刃」についてです。子どもたちは、「竈門炭治郎」とか難しい漢字が書けたり、「全集中」「〇〇の呼吸」「生殺与奪の権を他人に握らせるな」とか独特な言い回しを覚えて使いこなしたりしていませんか？または、部活動に熱中していれば、そのことについて、競技の専門用語はもちろん、どんどん詳しくなっていくませんか？その理由は、関心があり、友だち同士の会話で高頻度で使い、しかも、その言葉が重要であるからです。

★ポイント 大人が持っている語彙数は、お子さんよりも明らかに多いです。お子さんが言ってきた言葉を言い換えたり、言葉を付け足したりして、言葉を返してください。いつも同じ言葉でなくて、どんどん違う言葉で伝え、表現していきましょう。

② 日常的に耳にされていて、必要にせまられれば理解する！！

コロナ禍があったことで語彙が増えました。例えば「ソーシャルディスタンス」「リモート」です。「リモート授業をする」「ソーシャルディスタンスをとる」はコロナ禍以前にはほとんど聞かなかった言葉でしたが、今はみんなが理解しています。それは、これらの言葉の関心が高く、高頻度で使われ、重要度も高いからです。同様に考えれば、手伝い（掃除、買い物、草取り、洗濯、食事の準備や洗い物、お風呂掃除、犬の散歩、雨戸を開ける、など）がよい機会です。例えば、「調理」の手伝いであれば、「まな板」「包丁」「おたま」等の調理器具をもちろん、材料名、調理方法などの語彙が増えます。



★ポイント 夏休みは絶好のタイミング！この機会に様々な体験で語彙力アップ！

**基本は会話です。「会話をする」ことが一番の練習になり、上達につながります。
そして、何より会話を楽しみましょう！**

（参考 「きこえとことばの発達と支援」 大伴潔・大井学）